

陸上自衛隊第14旅団広報誌



今年もお世話になりました。

今号の内容

- ・ 2024年活動状況
- ・ 各部隊活動
- ・ ベストオブフォト

Vol. 191
2024. 11-12

二〇二四年を振り返る



自衛官候補生課程入隊式
(高知)
[新入隊員]



旅団災害対処演習
[ホイスト救助訓練]



能登半島地震
[給水支援]



自衛官候補生課程入隊式
(高知)
[宣誓]



旅団災害対処演習
[通信の確保]



能登半島地震
[物資輸送支援]



第14旅団創隊18周年
善通寺駐屯地開設74周年
記念行事
[観閲式]



旅団音楽まつり
[ステージドリル]



能登半島地震
[入浴支援]



第14旅団創隊18周年
善通寺駐屯地開設74周年
記念行事
[観閲行進]



旅団音楽まつり
[ステージドリル]



旅団射撃競技会
[各個射撃]



第14旅団創隊18周年
善通寺駐屯地開設74周年
記念行事
[ロープ体験]



中部方面特科隊廃止行事
[隊旗返還式]



旅団射撃競技会
[分隊射撃]



旅団演習
[警戒]



日米合同演奏会
[合同演奏]



募集広報の日
[職種紹介(衛生科)]



豊後水道地震
[初動対処の出発準備]



旅団演習
[命令・指示]



日米合同演奏会
[両指揮者]



募集広報の日
[職種紹介(化学科)]



豊後水道地震
[作戦会議]



旅団演習
[近接戦闘]



オリエント・シールド24
[訓練開始式]



募集広報の日
[職種紹介(施設科)]



豊後水道地震
[高知県庁への派遣・対応]



陸上自衛隊演習
[海上機動]



オリエント・シールド24
[HIMARS]



旅団集合教育「レンジャー」
[帰還式]



戦傷治療集合訓練
[患者輸送]



陸上自衛隊演習
[進入]



オリエント・シールド24
[総合訓練]



追悼式
[追悼の辞]



部隊相談員集合訓練
[傾聴法]



陸上自衛隊演習
[監視]



陸曹候補生2次試験
[分隊教練]

01 各県防災訓練への参加

約250食のカレーを炊き出し

第50普通科連隊(連隊長 水関謙作1等陸佐)は、11月11日に「令和6年度香南市総合防災訓練」、11月16日に「令和6年度高知市総合防災訓練」に参加しました。

【訓練展示】

災害発生時から情報収集、合同調整所設置、救出救助までの一連の行動を各自治体と連携し共に訓練を行いました。
(写真下)



【装備品展示・炊き出し】

訓練終了後には部隊が保有するオートバイや1トン半救急車、高機動車、人命救助セットなど災害派遣で活躍する装備品を展示し実際に触れていただきました。(写真①)
また、野外炊具で調理したカレー約250食の炊き出しを行い地域住民の方々に味わっていただきました。
(写真②)



第50普通科連隊はこれからも地域と連携し南海トラフ地震や各災害に備え訓練に邁進します。

搜索



救助



搬送



【訓練展示】

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域住民と防災関係機関が協力し、各地区での避難体制の構築及びライフライン途絶時における情報収集・伝達活動、救助救出を検証する訓練であり、第14高射特科隊は、防災関係機関と協力して警察・消防・自衛隊共同による土砂災害発生時における人命救助能力の向上を図りました。
(写真左)

防災関係機関との連携

第14高射特科隊(隊長 渡辺大嗣2等陸佐)は、12月1日、愛媛県愛南町で実施された「令和6年度総合防災訓練」に参加しました。



【装備品展示】

愛媛地方協力本部が実施する装備品展示において11式短距離地对空誘導弾(11短SAM)及び93式近距離地对空誘導弾(近SAM)を展示し多くの方々に触れていただき募集広報に寄与しました。(写真上)

第14高射特科隊は、引き続き防災関係機関と密接に連携し、災害対処能力の向上を目指します。

徳島県総合防災訓練に参加して 3等陸尉 澤崎将司



大規模地震を想定した令和6年度徳島県総合防災訓練において、第14飛行隊は多用途ヘリコプターUH-1Jをもって、孤立地域となった病院から医療体制の整った病院への緊急患者空輸訓練を実施して徳島県及び防災関係機関との連携を強化し、災害対処能力の向上を図ることができました。

このような病院のヘリポートへの離着陸を通じて自身の操縦練度を再認識するとともに、更なる技量の向上とあらゆる事態において任務を遂行できる航空操縦士となれるよう引き続き努力が必要だと改めて痛感しました。

本訓練を通じて、今後予想される各種災害において第14旅団そして第14飛行隊にかかる期待が大きなることを肌で感じるとともに、自衛官及び操縦士としての職務に対する誇りを強く感じることができました。



緊急患者空輸訓練

02 旅団統制秋季教育訓練基盤構築の実施

道場のブラッシュアップ

第14旅団司令部付隊（隊長 菅貴光3等陸佐）は、12月上旬、「令和6年度旅団統制秋季教育訓練基盤構築」を実施しました。これは我々が普段訓練や射撃で使用する「道場」である演習場のブラッシュアップです。

今回は約4日間にわたって、全隊員が「道場」に敬意を払いつつ、機能維持のため基盤構築を実施しました。

整備後、驚くほどきれいになった「道場」の光景は、晴れやかな気持ちになり、新たな「やる気と爽快感」を与えてくれました。



before



after

【基盤構築した演習場】（写真上）

演習場は、私たち自衛官にとって訓練を行い、自分たちを練磨する「道場」ですが、自然の山林を切り開いた場所は、経年劣化や草木が生い茂ることによって、必要な機能が損なわれることがあります。このため定期的に草を刈ったり、排水溝の土砂を取り除く機能維持のための基盤構築を行います。

03 方面統制秋季教育訓練基盤構築の実施

機能維持・向上と操縦手の技術向上に繋げる

第14施設隊（隊長 吉田正幸2等陸佐）は、12月上旬、「令和6年度方面統制秋季教育訓練基盤構築（日本原）」に参加しました。期間を通して日本原演習場のブラッシュアップを行うものであり第14施設隊は主に伐木材の破碎、停弾堤の補修等を行いました。



【ロングアームの操作】

射撃の際、弾を受け止めるための停弾堤の補修を行いロングアームにより斜面を整えました。

（写真左）

【ウッドチップの作成】

ウッドチップは戦車射座において戦車等がスムーズに機動できるように地面を引きならすために使用します。

（写真右）



【バケットローダを操縦する様子】（写真左）

バケットローダ操縦手として参加した植松力登陸士長は「今年3月に初級施設機械操作教育を修了してから初めての実践の場でした。バケットローダを操縦し、真砂土の運搬や停弾堤斜面の角度調整作業を実施しました。教育が終了してから半年以上が経っていたので、不安と緊張が入り交じっていましたが、上司・先輩からアドバイスをいただき、落ち着いて作業することが出来ました。」と話していました。

04 第14後方支援隊創隊18周年記念行事の実施



プロフェッショナルとして隊務に邁進する

第14後方支援隊(隊長 渡邊修1等陸佐)は、11月26日、善通寺駐屯地において「第14後方支援隊創隊18周年記念行事」を実施しました。

【式典】

多数のご来賓の方々や隊員家族を招待し、ご来賓から祝辞を賜りました。渡邊隊長は、式辞において「あらゆる事態に即応して、我々に与えられる兵站・衛生支援任務を完遂できるようプロフェッショナルとしての心と技を磨き続けることが、隙のない備えとなり、国民の安全はもとより、仲間とその家族の幸せにつながることを自覚し日々の隊務に邁進してもらいたい」と隊員を鼓舞しました。

第14音楽隊の演奏から始まり、第14後方支援隊の士気旺盛な様子をご来賓の方々にご覧いただきました。

【アトラクション等】

式典終了後、子供広場において輪投げやストラックアウト等、隊員家族の子どもたちとふれあいの場を設けました。(写真右) また、祝賀会食では、終始和やかなムードで行われる中、ご来賓の方々から多くの激励のお言葉をいただき、盛会のうちに終了しました。



05 高知県安芸郡芸西村で巡回演奏

クリスマスコンサートを盛り上げる

第14旅団は、12月14日高知県安芸郡芸西村において巡回演奏を行いました。

巡回演奏では、芸西村民会館大ホールで行われたクリスマスコンサートにゲスト出演するとともに第14音楽隊が芸西中学校において演奏指導を行いました。

また、ホールの外では第15即応機動連隊及び第14情報隊が装備品展示を行い多くの皆様にご来場いただきました。



【演奏指導】

各楽器に分かれ音の出し方など練習した後に、合同演奏を行いました。限られた時間にもかかわらず息の合った演奏が音楽室に響きました。



【装備品展示】

96式装輪装甲車(WAPC)、オートバイ、高機動車、無人偵察機(スキャンイーグル)の装備品展示を行い、たくさんの来場者に触れていただきました。



【演奏会】

芸西村吹奏楽団との合同演奏ではクリスマスにちなんだ「クリスマスディスコキャロル」などを演奏し、会場は大いに盛り上がりました。

06 部外イベントに参加

システム通信科職種の魅力をアピール！

第14通信隊（隊長 脇田祐一郎2等陸佐）は、11月26日、香川県観音寺市において「おいしいかんおんじ物産展」、11月29日、徳島県阿南市において「羽ノ浦中学校防災教育」に参加しました。



【おいしいかんおんじ物産展】（写真左）

自衛隊ブースにおいて野外通信システムの装備品展示を行いました。多くの方々足を運んでいただき楽しんでもらうことができました。

【羽ノ浦中学校防災教育】（写真右）

野外通信システムの装備品展示と野外電話機の操作体験を行いました。特に野外電話機の操作体験では、多くの中学生に体験してもらいシステム通信科という職種に興味をもってもらい自衛隊の魅力をアピールできたと思います。



今後もこのようなイベントに参加して、部外広報活動に積極的に取り組み地域住民の自衛隊に対する理解と信頼獲得に寄与していきます。

07 防災フェスタでホール演奏を実施

地域住民の防災意識の高揚にも寄与

第14音楽隊（隊長 平林誠1等陸尉）は、11月17日にアエルワホール（徳島県阿南市）で開催された阿南市防災フェスタに参加し、ステージ演奏を行いました。

地域住民や防災関係者を含む多くの観客が集まり、ホールは終始熱気に包まれました。

【演奏会第2部】

防災フェスタのテーマにちなんだ選曲で、消防士を描いた映画のサウンドトラック「バックドラフト」や、隊員による歌唱で「コスモス」を披露しました。また多くのソロ演奏が見どころの「ディスコ・パーティ」では、各楽器の華やかな音色が会場を盛り上げ、演奏会はクライマックスを迎えました。

（写真右）



【演奏会第1部】（写真上）

吹奏楽の魅力存分に堪能できるクラシックステージが展開されました。オリジナル曲の「プロローグ・マジスティア」や「フラッシング・ウインズ」の壮大な響きがホール全体を包み世界的に有名なミュージカル「ウエストサイドストーリー」の名曲を集めた「ウエストサイドストーリー・セレクション」では華やかで情感あふれるアレンジを披露しました。



演奏終了後には多くの観客から「素晴らしい演奏に感動した」「防災について考える良いきっかけになった」という声をいただき、音楽の感動を通じて地域の防災意識を高めるステージとなりました。

08 120mm迫撃砲射撃訓練を実施

新隊員たち、初めての射撃訓練

第15即応機動連隊（連隊長 徳淵文雄1等陸佐）は、11月中旬、国分台演習場（香川県）において120mm迫撃砲縮射弾射撃訓練※を実施しました。本訓練は新隊員を中心に班を編成し、経験を積ませることを目的に行われました。

※ 縮射弾とは、本来の射距離や威力を小さくした弾薬。120mm迫撃砲を本来の弾薬で射撃するには広大な演習場が必要となります。縮射弾を使用することにより狭い場所でも訓練できるように開発されたのが「縮射弾」です。



【120mm迫撃砲の照準する様子】（写真左）

本射撃訓練には、120mm迫撃砲での実弾射撃経験のない令和6年度に入隊した新隊員が参加しました。



【班長の射撃号令を待つ様子】（写真右）

本訓練に参加した山田陽介2士は訓練を終え「思ったより音と衝撃が大きくてびっくりしました。実弾射撃ではさらに大きな音と聞いているので気合を入れていきます。」と語りました。

新隊員は引き続き訓練を実施し、来たる実弾射撃訓練に向けて、更なる練度向上に励みます。

09 自動二輪集合教育(後段)

じんばいったい 「人パー体」

第14偵察隊（隊長 神品秀雄2等陸佐）は、約1カ月にわたり自動二輪集合教育（後段）を実施しました。

本教育は旅団各部隊から集まった隊員に対してオートバイの操縦技術を磨き上げるため、基本操縦のみならず不整地でも自由自在に乗りこなす応用技術の修得を目的に行われました。

参加した隊員は1カ月を通し、どんな険しい道もバイクと共に走破できるよう「人パー体」の心構えのもと、技術を修得することが出来ました。最後の練度判定では全員が合格することが出来ました。

【教育の様子】

デコボコの地面、不安定な坂などから体重移動の重要性やアクセルワークのコツをつかんでいきました。



不整地走行



丸太越え



階段登行



尾根越え

10 応急展開・設置訓練の実施

万事任務に備えて

第14情報隊（隊長 濱田安彦2等陸佐）は、旅団長統率方針「万事任務が基準」を念頭に応急展開・設置訓練を実施しました。



【応急展開・設置】

時間に余裕のない状況下で無人偵察機（スキャンイーグル）を運用するため各種装置（発射装置、回収装置）の設置、システムチェック、さまざまな器材の接続要領を確認しました。



【ミーティング】

一連の動きを確認した後は、ミーティングを行い、課題解決や意思決定の促進を図るとともに隊員同士の協調性や意欲を高めました。



【夜間訓練】

繰り返し訓練を行い、各種器材の癖を把握し、器材に慣れることでスムーズに設置・展開が可能になります。訓練は夜間においても行われました。

11 化学火工品処理技能者集合訓練

処理技能者として

第14特殊武器防護隊（隊長 西原清隆3等陸佐）は11月下旬、善通寺駐屯地及び国分台演習場（香川県）において「令和6年度化学火工品処理技能者集合訓練」を実施しました。

本訓練は、化学火工品に関する取扱い及び処理要領に関する技術を修得する訓練であり、訓練参加者は駐屯地内で化学火工品に関する知識を学び、模擬弾を用いた取扱い及び不発時の処理要領について練成しました。

当初はぎこちない様子でしたが、反復演練により徐々に練度を向上させ、国分台演習場において実化学火工品を用いた訓練を行い処理技能者として必要な知識・技能を修得しました。

【実化学火工品を用いた訓練】



発煙黄りん手榴弾投てき訓練



照明筒1形の取扱い

12 徳島県警察及び香川県警察との合同共同訓練の実施



【緊急走行訓練】

香川県警察のパトカーを先頭に訓練地域まで展開しました。



【共同対処】

香川県、徳島県の警察の協力のもと、武装工作員を自衛隊が鎮圧・引き渡し、地域を安全化するまでの一連の行動を訓練しました。

連携強化を図り地域の安全を守る

第15即応機動連隊は、11月29日、徳島県警察及び香川県警察と共同し、施設や区域の警戒防護を実施するとともに、治安を侵害する勢力の鎮圧要領について訓練しました。これまでは各県の警察每行ってきましたが、今年は初めて徳島県警察、香川県警察、第15即応機動連隊が協力した合同共同訓練となりました。

2024年

これが
私の

ベスト ショット



「突撃」



「絶望の中の希望」



「慧敏」



「父子相伝」



「TAKE OFF!!」



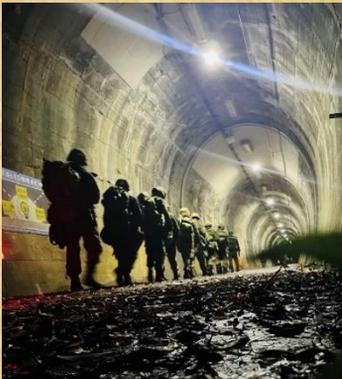
「協・闘」



「笑顔を支えた先輩の涙」



「束の間の紅葉狩り」



「淡々と」



「山の上の雲」



「いつでも来い!」



「ONE TEAM」



「Point instructions」



「視力8.0」



「威風堂々」



「高知駐屯地納涼祭」



「繋」



「アイドル」



「気概」



「きっかけ」



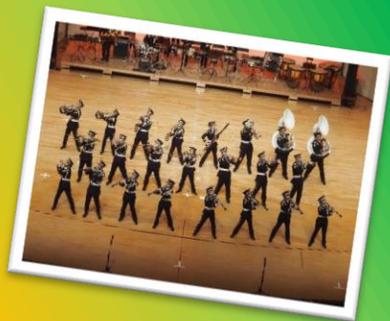
「Camarada～仲間～」



「艦艇広報」

令和6年度 第14旅団音楽まつり

14th Brigade Annual Music Festival



HARMONY / in / COLOR



旅団唯一の音楽科部隊が年に1度の大祭りを開催！！
高度な演奏技術はもちろん第14音楽隊の色鮮やかなアレンジを加えた楽しい演出が盛りだくさん♪
高い支持力を得た善通寺十五聯太鼓・土佐50連龍馬太鼓が今年も躍動します！！



2025
3. 1 (土)

会場：レクザムホール(香川県県民ホール)

入場無料(入場券が必要になります)

開場 / 12:30 開演 / 13:30

終演 / 15:30

応募要領

お申込みは、インターネットのみとなります。

14りよだん

検索



詳しくは、14旅団ホームページで！
QRコードからもご覧になれます。



応募にあたっての注意事項

- ・応募はインターネットからのみとなり、応募者多数の場合は抽選をいたします。
- ・応募は一人1回までといたします。
- ・応募者1名に対し同伴者の申し込みは1名といたします。
- ・当選者の発表は、チケットの発送をもって代えさせていただきます。
- ・発熱等、体調不良の場合は、ご来場をお控えください。
- ・未就学児のご来場は、ご遠慮ください。
- ・最新の情報は第14旅団ウェブサイト内の特設サイトよりご確認ください。

応募締切：令和7年2月7日(金)



お問い合わせ：第14旅団司令部総務課広報班 Tel (0877) 62-2311 内線 (2256)



『煙突と間違えてMCVハッチに登っている！？あわてんぼうのサンタクロース』

